



区内の障害者施設の方が

心をこめて作った品物がずらり！



26. 12. 9  
杉並区広報課

## 「障害者のつくる品物フェア」開催！

本日、12月9日（火）、杉並区役所（阿佐谷南1-15-1）の1階ロビーで、区内の障害者施設の方が作ったパンや焼き菓子、手工芸品などを販売する「障害者のつくる品物フェア」が開催されました。これは、施設で作られた商品のクオリティの高さを多くの方に知ってもらい、丁寧さ、正確さを必要とする下請け作業や軽作業の受注拡大につなげたいとの思いから、年に3、4回「すぎなみ仕事ねっと」が主催しているものです。

杉並区内では、およそ1000人の障害のある方が、地域で自立した生活ができることを目標に、障害者施設などで働いています。その方々の、工賃アップや勤労意欲の向上、さらには、施設の活性化を図るため、平成18年に「すぎなみ仕事ねっと」が設立されました。



今日行われた「障害者のつくる品物フェア」には、「すぎなみ仕事ねっと」に所属する23の障害者施設のうち14の施設が参加し、パンや焼き菓子などの食品のほか、バッグ、アクセサリ、ブックカバーなどの手工芸品がずらりと並びました。午前11時、参加施設のうちの一つ、「あけぼの作業所」の元気な開会宣言とともに、フェアがオープンしました。時節柄、まつぼっくりで装飾されたリースやシュートーレンなどのクリスマス商品、カレンダーや干支の手ぬぐいなどのお正月用品が大変好評でした。

「すぎなみ仕事ねっと会長」の浅井さんは、「このフェアを通じて、施設で作られた商品のクオリティの高さを知ってもらえたら嬉しい。ダイレクトメールのラベル貼りや封入、菓子の箱折りなどの下請け作業、公園の清掃などの軽作業でも、施設の皆さんは、とても丁寧で、正確な仕事をします。今後は、ひとつの施設では請け負えない大口の仕事を、いくつかの施設が共同で受注し、機会の拡大を図るほか、魅力ある製品開発にも積極的に取り組んでいきます。」と、話していました。

### 【問い合わせ先】

障害者生活支援課 就労支援担当 電話 3312-2111（代表）